

## 令和6年度 第1回函南町子ども・子育て会議議事録

日時 令和6年11月20日(水)

場所 函南町役場4階 特別会議室

開会 午後7時

### 出席委員 14名

鈴木晴範委員、藤原啓委員、加茂健司委員、村瀬友紀恵委員、山本哲也委員、仁科和晴委員、三枝文和委員、遠藤弘美委員、渡邊栄子委員、長谷川園枝委員、鈴木 薫委員、畠山浩太郎委員、佐野章夫委員、久保田浩子委員

### 事務局

厚生部長 大沼裕幸、子育て支援課課長 木代和美、課長補佐 二藤光、課長補佐 原賀佳子  
係長 佐藤晶子、係長 高谷由紀恵、係長 山島明美、主査 室伏さやか、主査 大西健太

#### 1. 開会

#### 2. あいさつ

#### 3. 委嘱状交付、委員紹介

#### 4. 会長選出

---

### ○事務局

函南町子ども・子育て会議条例第4条の規定により、子ども・子育て会議に会長および副会長、それぞれ1人を置き、委員の互選によりこれを決めるとなっております。前回の会議にて函南町商工会前会長に会長をお願いしておりましたが委員の辞任に伴い、改めて規定に基づき、会長を委員の中で決めていただきたいと思います。選出方法はいかがいたしましょうか。

### ○A

事務局一任で。

### ○事務局

ありがとうございます。事務局一任の声がありましたので、事務局のほうでよろしくお願いします。

### ○事務局

事務局では、前回の会議の会長を、函南町商工会会長をお願いしたことも踏まえまして、仁科和晴委員に会長をお願いしたいと考えております。いかがでしょうか (一同、異議なし)

### ○事務局

それでは事務局案の通り、会長に仁科和晴委員をお願いいたします。

## 5. 議事 第3期函南町子ども・子育て支援事業計画について

---

### ○事務局

「第3期函南町子ども・子育て支援事業計画（案）について」説明

（事務局、コンサルタント会社より、資料の説明）

計画策定のスケジュールについてご説明

### ○会長

ただいまの説明に対する質疑がありましたら、挙手にてお願いします。

### ○委員

ご説明を聞きながら少し疑問に思ったところについてお伺いしたいことがあります。データの中で、離婚件数と離婚率が、県や国が下がってるのに対して、函南町は上がって少し下がりがかけていますが、この特徴的な差について何が原因としてえられるのか。また、子どもの数の推移と推計について、令和6年の0歳児の世代が、目立って増加している原因についてお伺いしたいところです。よろしくお願いします。

### ○事務局

先ず、13ページの離婚件数と離婚率の推移について、令和2年が上がっている原因について、今持ち合わせてるものがございませんので、ご理解いただければと思います。

### ○委員

次ページの女性の就労状況で函南町の数値のみになりますが、国勢調査から就業率が上がっており、離婚をしても大丈夫ではないか、頑張れる方が増えたなんてこともあるのかなと思います

### ○事務局

関係ないかもしれませんが、令和元年度、また令和5年度に行ったアンケートにおいて、子育て世帯の女性の働いている状況について、小学生世帯につきましてはそこまでの増減はないですが、就学前の幼稚園、保育園に通っている世帯の保護者へのアンケート結果の中で、働いている割合が、概ね15%程度高くなっています。お答えになっているかわからないですが、そんな形で確実に働いて世帯が増えていることが一つの要因と考えられると思います。

### ○名豊

それでは53ページの子どもの人口推計について、今回はコーホート変化率法で推計しております。1歳以上につきましては、例えば前年度の1歳児が次の年には2歳になりますので、その過去5年間の変化率を出し、それらの平均値で推計します。例えば、令和6年の0歳児が165人であり、令和7年には168人になってますので、多少増減ありますが近い数字の数値になっています。

ただし、0歳児は前年の数値がないため、子どもを産める女性の世代ということで、16歳から49歳ぐらいだと思いますが、その女性の人口に応じて、この0歳児の出生数を算出しており、他の年齢とは算出が違ってきます。一つ考えられるのは、その16歳から49歳の女性の数が、令和7年度が前の年に比べて多くなっていたということであれば、それに応じて実際子どもの数もおのずと増えてくる可能性があると考えられます。想定とはなりますが、一応考えられるところであります。

## ○会長

ほかにご意見はありますでしょうか。今の説明でもそうですけれども、かなり幅の広い内容で多くの深い内容で、本当は何がどう絡まっているのかっていうのが、わかりにくいと思います。そういうものを一つ一つ考えながらいくということなのかなと思います。他にご意見ありますでしょうか。

## ○委員

今年度函南町で生まれている人数が10月の時点で70人という話を聞いて、このままいけば今年度は160人ぐらいと伺っております。合計の出し方で16歳から40歳の女性の数に応じてというお話がありましたが、少し考えが甘いのではないかと思います。いろいろな方もいますので結婚されないことを選択する方もいますので一概に女性の数で出すというのは少し疑問に思います。園長会の方で子どもの数が生まれている数が減少傾向にあるというのを考えると、この数字の出し方は少し甘いかなと感じました。

## ○事務局

51ページに、(4)量の見込みの算出について、見込み量の推計方法については、国が示している量の見込みの算出の考え等もございまして、決められた形で算出の方法となっています。

確かに園長先生言ってる通り、現状子どもの数も少ないところにございますので、その辺国が示している基準と、また現状も踏まえた形で算出できないかというところで、改めて検討させていただいて、反映できるものは反映したい考えています。

## ○委員

安心して子育てができるとか、この町だったら他のまちよりも子どもを産み育てたいとか、そう思ってもらいたい要素も計画から感じられますので、そこを頑張っていただきたいという思いは親としてありますが、具体的な方法として最近強盗とか、不審者の目撃情報が多かったりするため、直接子どもに対しても防犯カメラとか、何か街全体にそういう仕組みをお金かけて取り入れるみたいなことをもしているようでしたら存じあげなくて申し訳ないですが、取り組まれる計画がここにはないにしても話し合われているのかどうかお伺いできますか。

## ○事務局

町全体として自分の方で把握はできていないですが、令和5年度の後半に各幼稚園のそれぞれ死角となる部分に、防犯カメラを設置させていただいて、防犯体制として昨今のいろいろな事情を踏まえると、なかなか怖い部分もございますので、その辺の対策は昨年度実施しています。

## ○委員

個人的には通学路について、特に堤防とか、カメラを設置するような柱もないような場所も多いのでどんな対策があるのかなと思ってお聞きした次第です。ありがとうございます。

## ○会長

今日、これだけ幅広く深い内容について、意見はたくさんあると思います。意見があるようでしたら12月4日までに意見聴取表がここにありますので、お願いいたします。

### ○委員

66 ページのファミリーサポートセンター事業の量の見込みの確保方策見込みに対して倍近い確保量となっていますが、もっと使ってほしいというサービスと認識してよろしいですか。

### ○事務局

おっしゃる通り量の見込みに対する確保方策が余ってるような形になっております。援助を行う会員は相当数います。ただし依頼する会員は、ある程度一定数決まった方とかいう形になっております。提供会員についても新しい方を募集してますが、なかなか集まらないような状況になっており、子育て交流センターでも、新しい会員、それぞれ双方の会員の獲得を目指してPRもしながら、事業の利便性も知ってもらってということで努力していきたいと考えています。

### ○会長

ありがとうございます。それでは、他に意見もないようですので、今一度資料に目を通していただき意見、修正・校正があるようでしたら、12月4日までに意見聴取票を事務局にご提出ください。当局は子育て行政、特に保育行政について、継続して力を注いでほしいと思います。それでは、議事を終了させていただきます。すべての議事が終了しましたので議長の職を解かさせていただきます。

6. 報告 令和6年度子ども・子育て関連事業について

7. その他 / 8. 閉会

---